

つるせ西だより

☆富士見市☆
マスコットキャラクター
ふわっぴー



～ 今月の特集 ～
鶴瀬西交流センター
フェスティバル

第216号（10月号）2026.10.1

編集：鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行：富士見市立　鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1　TEL:049-251-2791　FAX:049-255-9707

地域の百景 86

児童館は中高生も使えるよ

児童館は、小さな子どもたちの遊ぶところというイメージが強いのでしょうか。実は0歳児から18歳未満の子どもたちが利用可能なのです。中高生も市内に3館ある児童館の開館時間内だといつでも利用できますが、小さい子どもたちがいるとお兄ちゃん・お姉ちゃんは気を使ってしまいますよね。そこで中高生が思い切り遊べる企画として夜間開館を実施しています。午後6時から8時まで。

関沢児童館は原則第3土曜日、諏訪児童館は不定期で年4回くらい、ふじみ野児童館は休館日以外の月曜日に実施です。卓球を楽しんだり静かにコミックを読んだり、ボードゲームで盛り上がったり、たまには宿題を済ませたりと自由に遊んでいます。

地域で子ども食堂を運営する団体と連携して軽食を用意することもあります。多くの子どもたちが集まって楽しく遊び、情操豊かに成長してくれることを願っています。（写真提供／各児童館・文／両角）



みんなで楽しく卓球！（諏訪児童館）





軽食でみんな笑顔に！（左：ふじみ野児童館、右：関沢児童館）

まちびとウォッチング⑥

鶴瀬西交流センター友の会　野村（のむら）東央留（とおる）さん

鶴瀬西交流センターの1階ロビーに展示されている「子ども神輿（みこし）」の由来について、知っている方は意外に少ないのではないか。

2005年、オープンする西交流センターを間近にひかえ、私も所属していた鶴瀬西公民館利用者連絡会が事業の継続を要望した。その一つに西公民館管轄内に生まれ育った子どもたちに【ふるさと】の意識を持ってもらおうと「子ども神輿」の制作を当時の利用連に提案し、「おもちゃクリニック」、「木工クラブ」、「小物作りの会」の協力で子ども神輿が完成した。

縁日当日は、駅前広場のロータリーを回り西交流センターに戻り、地域の子ども育成会も半纏（はんてん）などを作り応援する。それらをきっかけに西交流センター管内の子ども会等に「子ども神輿」を貸し出した。

今も修理を続けながら健在である。

「子ども神輿」の中には下鶴馬氷川神社のお札が収められている。



鶴瀬西交流センター縁日にて（令和元年度）